

リーディングDXスクール事業【実践事例】

天草市立本渡中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支える「他者参照」の機会の充実を目指した取組
（端末活用率の向上・生徒に委ねる授業観への転換を目指した校内研修の取組含む）

【取組前の状況】

- 大規模校で人数が多く、多くの生徒が使うとWi-Fiが止まりがちな設備環境
→端末活用率がとても低い状況
- 端末を効果的に活用した生徒主体の授業イメージを教師側がつかめていない状況
- 複線型の授業のイメージを持つことができない状況

【校内研修での取組】

- 校内研修での授業イメージの共有
（YouTube動画「【中学校編】1人1台端末で学校が変わる！」の視聴）
- 講師招聘による研修
 - ・ICT支援員による活用研修
 - ・熊本県教育委員会 教育政策課教育DX・働き方改革推進室指導主事による講話
- ※「学習の手順」と「他者参照」から始めることの重要性

【具体的取組】「他者参照」を増やすための「Googleスプレッドシート」等の取組

- 振り返りを「Googleスプレッドシート」で行う方法に変更することから開始
- 各教科の特性を活かした振り返りの実践と、教科を超えて活用できる振り返りシートを共有する取組
- 単元全体の振り返りやまとめをクラウド上で一覧できるようにした取組
- 振り返りに加え、各自の進度を可視化したり、見通しを持ったりするための振り返りシートの工夫改善（次ページに実物）

リーディングDXスクール事業【実践事例】

天草市立本渡中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容①】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支える「他者参照」の機会の充実を目指した取組 （端末活用率の向上・生徒に委ねる授業観への転換を目指した校内研修の取組含む）

Googleスプレッドシートの実物

◇国語科（プルダウンの活用）

学習課題	目指す姿	振り返りの視点
2201	<p>物語を読み取り、メロス・王についてわかる部分からそれ以外の人物を要する力を養ってあげることができました。同時に自分の方で読んだ人物の物語の中心や考え方が、読書で毎回違うものではないかと思ったりもしていました。読書を通していろいろな考え方を学べるようにしたいと思います。</p>	読書の前後で考えが変化しているか
2202	<p>物語の内容が分かり、登場人物の心情を自分なりに考えることができました。</p>	わからなかったこと
2203	<p>物語の内容を読み取り、メロスやディオニス王の人物像を捉えることができました。</p>	わからなかったこと
2204	<p>物語を読みながら内容の大体を捉えることができました。同時に自分の方で読んだ人物の物語の中心や考え方が、読書で毎回違うものではないかと思ったりもしていました。読書を通していろいろな考え方を学べるようにしたいと思います。</p>	読書の前後で考えが変化しているか

◇数学科（個人の進捗を可視化）

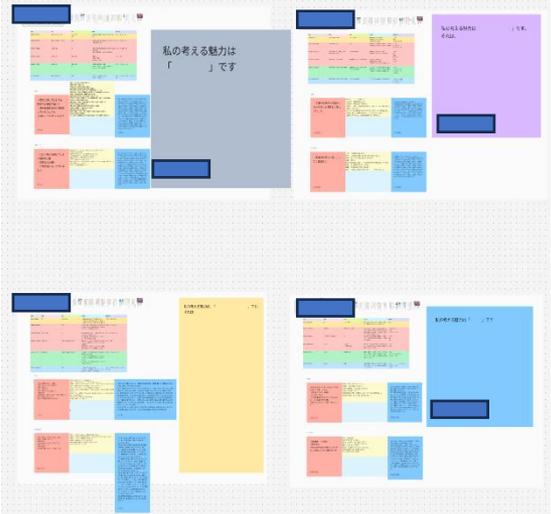
名前	第17時の個人めあて	「実形や形のしるしの対角線」についての既習	教科書P148 問2	教科書P148 問3	「直角三角形の斜辺の中点」についての既習	教科書P150 問4
1	ボス問題を速く読む	OK	OK	OK	OK	チャレンジ
2	チェックテストまで終わらせる	OK	OK	OK	OK	OK
3	分冊誌まで終わらせる	OK	OK	OK	OK	OK
4	ボス問題まで終わる	OK	OK	OK	OK	OK

◇社会科（学習計画を含む）

アフリカ州 【単元を通じた課題】 アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要とされているのだろうか？				
	1時間目の計画	2時間目の計画	3時間目の計画	分からないこと質問コーナー
1	アフリカ州の地形や気候について調べてまとめる	知識プリントを終わらせる	資料活用問題	
2	アフリカ州の地形や気候についてまとめる	資料活用問題、知識のプリントをする。次に小	10分くらい、資料活用問題、知識のプリントをする。次に小	
3	気候、地形について	教科書の読み込み、キーワードに印をつける	小テスト 資料活用問題	
4	アフリカ州の地形と気候について調べる	知識プリントまとめ、余った時間で資料活用問題をする	資料活用問題、小テスト	
5	アフリカ州の地形と気候を調べ、まとめる	知識のプリントと資料活用問題をする	小テストをする	

デジタルホワイトボードの実物

◇国語科の取組



生徒の様子（他者参照）

<https://drive.google.com/file/d/162eRFRcpeDahIIA-z0Gfpvur64w8Luti/view?usp=sharing>

生徒の声

<https://drive.google.com/file/d/1lwa2vtpt5DapWIOP-hDUqzsDKIbZkz8u/view?usp=sharing>

取組による変容

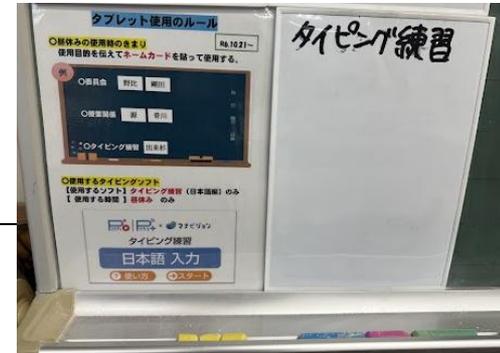
- 生徒の学びやすさの向上（左下動画）
- 端末活用の教科が増えたことによるスキルの向上
- 教師の端末活用率の向上（意識調査 54%→81%）

今後の課題

- 活用が授業導入および終末に偏る傾向があるため、深める段階での活用をより充実させる必要性あり

【取組内容②】 タブレット端末の正しい利用について

タブレットを使用目的以外で使ったり、必要でない場面で使用したりなどの課題があったため、タブレットを正しく活用するための取組を行なった。



タブレットの正しい利用を促すための可視化の工夫

1 目的

- ・タブレットの適切な使用を促し、学習環境を整える。
- ・誰がタブレットを使用しているかを明確にし、管理をしやすくする。

2 取組内容

昼休みにタイピング練習を行う際、**黒板に生徒のネームプレート**を貼る。これにより、誰がタブレットを使用しているかが一目で分かる。

- ・**タブレット利用の可視化を行う。**
- ・**不正使用の防止**：事前に決められた生徒以外がタブレットを使わないよう管理できる。
- ・**責任意識の向上**：生徒自身が「自分が使用している」という意識を持ち、適切な使い方が心がけるようになる。

3 期待される効果

- ・**タブレットの適切な管理が可能に**
- ・**生徒の責任感が向上**
- ・**教員がタブレットの使用状況を一目で把握できる**

このような工夫により、タブレットを安全かつ効率的に活用しながら、タイピング学習を進めることができる。

【取組内容④】 印刷時間の削減と、情報共有の即時性を大切にした校務DXの取組

- ① P T A総会や学年懇談会の資料、体育大会プログラム、保護者へのアンケートやP T A活動の参加申込などをPDFデータでメール配信にした。
→ 膨大な印刷業務の時間を削減し、職員の負担を軽減できた。
- ② 職員へ毎朝連絡するためのプリント（日報）をGoogle Classroomで共有した。
→ 出張などで学校外にいても、日報に記載されていることが確認できるようになった。
すべての職員に漏れがなく、情報を伝達できるようになった。
- ③ 欠席した生徒への連絡や受けていない授業の板書を、Google Classroomで共有できるようにした。
→ 相談室などの教室外で学習している生徒や適応指導教室で学習している生徒にも確実に連絡が行き届くようになった。
担任が欠席した生徒に個々に電話連絡する必要がなく担任業務の負担を軽減できた。
各クラスの教科係も創意工夫を凝らすようになりテスト前に重要語句や要点をまとめて学級の生徒に紹介できるようになった。そのことにより生徒の学習意欲が向上し、さらに、学級のなかま作りにも役立つようになった。

【取組内容④】 印刷時間の削減と、情報共有の即時性を大切にした校務DXの取組

- ④ **職員専用**の校内研修用の**ホームページ**と**Google Classroom**を作成した。
- 各部会で協議した内容をいつでもどこでも閲覧できるようになった。公開授業に向けたスケジュールや学習構想案、計画などの共通理解事項の情報共有ができるようになった。昨年度まではできなかった、**データの共同編集**ができるようになった。
- ⑤ 保護者からフォームにより送信された生徒の出席確認に関する内容（遅刻、欠席、早退などの連絡について）を、Google スプレッドシートを活用して、**一覧表で教職員全員が同時に閲覧**できるようになった。また、追加で連絡が来た場合も教職員が**データの共同編集**ができるようになった。
- 授業を行う教室や職員室、保健室などで出欠の確認ができ、**担任や授業担当者の負担を軽減**できた。
- ⑥ 運営委員会や不登校対策委員会、特別支援教育推進委員会など校内の各部会での話し合いの記録を、用紙で印刷せずにGoogle スプレッドシートなどを活用して、**データの共同編集**ができるようになった。
- **Google Classroom**を活用したことで、夏季休業日や出張などで教職員が**学校に不在でも、各自のスマホなどで確認**できるようになった。